

森林認証について

世界の持続可能な森林認証は大きく分けて、FSC (Forest Stewardship Council、森林管理協議会)、PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification Scheme、PEFC 森林認証制度相互承認プログラム)に大別されます。

このうち、PEFC は各国の森林認証制度間の相互承認をするシステムに特徴があり、日本の森林認証制度である SGEC (緑の循環認証会議)とも相互承認関係にあり、現在、SGEC は SGEC/PEFC ジャパンという国際森林認証制度になっています。

森林認証の仕組みは、森林そのものを認証する FM (Forest Management、森林管理認証)、CoC (Chain of Custody、加工・流通過程)に分かれます。CoC 認証は、FM 認証を取得した森林から出材される丸太などを原材料とした木材製品加工過程、消費者の手見届くまでの流通過程の当事者がすべて CoC 認証を取得することで、はじめて認証の連鎖が成立することになります。

当社は木材製品加工、木材製品流通の立場として、この森林認証連鎖の一翼を担うことを目指し、FSC および SGEC/PEFC の CoC 認証を 2021 年 11 月に取得しました。近年、大手ビルダー、デベロッパー、内装設計施工大手などを中心に、違法リスクのない木材製品を調達するという機運が高まっています。東京五輪でも CoC 認証木材製品が調達の原則となりました。

これは SDGs や ESG 投資が広がりを見せていることが大きく影響していると考えられます。エシカルマテリアル (倫理的資材)、フェアウッドといった形で厳格な木材製品調達基準を定めるケースを増えています。下記に森林認証機関である SGS ジャパン認証サービス事業部/森林認証部が作成した CoC 認証の概要を紹介します。

[CoC 認証について 2017Sep 版.pdf](#)

FSC

FSC は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。環境保全の点から見ても適切で、社会的な利益にかない、経済的にも継続可能な森林管理を理念とし、森林が急速に破壊されている状況を背景に、1994 年、環境団体、林業者、林産物取引企業、先住民団体などが中心となって設立されました。

責任ある森林管理から生産される木材とその製品を識別し、それを消費者に届けることで、責任ある森林管理を消費者が支える仕組みを作っています。FSC 認証は、多くの消費者、環境団体、企業などから支持を集め、世界で最も信頼度の高い森林認証制度として国際的に知られています。

FSC 森林認証は、森林から消費者まで林産物やそれを含む製品を扱うすべての組織が対象となり、製品を市場に届けるための継続的な認証としては、2種類の認証があります。FM認証と CoC 認証です。FSC 認証木材は、FSC の責任ある森林管理の規格を満たした認証林から生産されます。森林が責任をもって管理されているかを審査し、認証するのが FM 認証であり、認証林から収穫された認証材が消費者の手に届くまでの加工・流通過程を認証するのが CoC 認証です。

原則として、認証林から生産された木材でも、CoC 認証を取得した組織でないそれを FSC 製品として販売してはいけません。木材は最終製品となり、消費者の手に届くまで、長く複雑な加工・流通過程を経ますが、CoC 認証はその過程で不適格な木材と混ざってしまわないことを確認するためのものです。FSC 製品が消費者の手に届くまでには、小売を除く、生産、加工、流通に関わるすべての組織が認証を受けなくてはなりません。

<https://jp.fsc.org/jp-jp>



The mark of
responsible forestry

クボデラ株式会社の FSC 森林認証 (CoC 認証) マーク

SGEC/PEFC

PEFC は 1999 年に発足し、欧州地域の「汎欧州森林認証制度」としてスタートしました。その後、2003 年には、北米や豪州などヨーロッパ以外の諸国が加わり国際化が進んだため、「PEFC 森林認証制度相互承認プログラム」と改称し、世界各国の認証制度との相互承認を行う国際認証組織として活動を開始しました。近年は、アジア地域や南米の国々との相互承認はもとより、アフリカ地域においても積極的な活動を展開しています。

PEFC の主要目的は、各国の信頼ある森林認証制度の独立性と自主性を尊重し、それらの認証制度間の一貫性と適合性を実現し、持続可能な森林管理のための統一かつ高レベルの森林認証制度を世界的なレベルで確立・実施することにあります。この相互承認制度を通じて、PEFC は、PEFC の承認を受けた森林認証制度を有する全ての国において実行される認証がすべて同一かつ高い水準で維持・運営されていることを検証しています。それゆえ、PEFC の承認を受けた森林認証制度により認証を受けた森林は、PEFC の認証林として認められることになります。FSC と同様に、FM 認証と CoC 認証に分かれます。

SGEC は社会的認知度を高めると共に認証製品の国際的地位を確立するため、2014 年 7 月に PEFC に加盟し、2016 年 6 月に PEFC との相互承認を行いました。以来 SGEC は SGEC/PEFC ジャパンという国際森林認証制度として再出発し、国内はもとより国際的な認証材供給ネットワーク（サプライ・チェーン）を構築など、様々な取り組みを行ってきています。

<https://sgec-pefcj.jp/>



クボデラ株式会社の SGEC 森林認証 (CoC 認証) ロゴ



クボデラ株式会社の PEFC 森林認証 (CoC 認証) ロゴ